



WEEKLY BULLETIN HANAMAKI SOUTH ROTARY CLUB RI Dist.2520 plasecountry-region Japan

- 四つのテスト
1. 真実かどうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるかどうか

UNITE
FOR
GOOD



RI2025-2026テーマ

“UNITE FOR GOOD” 「よいことのために手を取り合おう」

RI会長 フランチェスコ・アレツィオ (イタリア, ラグーザ・ロータリークラブ)

第2520地区ガバナー 加藤雄彦 (仙台ロータリークラブ)

花巻南ロータリークラブ会長 高橋誠

第2802回例会 令和7年9月4日 基本的教育と識字率向上月間

次第

- | | |
|--------------|------------|
| 1 開会点鐘 | 会長 高橋 誠君 |
| 2 ロータリーソング斉唱 | |
| 3 四つのテスト | |
| 4 ゲスト紹介 | |
| 5 会長の時間 | 会長 高橋 誠君 |
| 6 幹事報告 | 幹事 伊藤 拓帆君 |
| 7 慶祝(月初のみ) | 親睦委員会 |
| 8 委員会報告 | |
| 9 ニコニコBOX | ニコニコBOX委員会 |
| 10 出席報告 | 出席奨励委員会 |
| 11 プログラム | 枠外参照 |
| 12 閉会点鐘 | 会長 高橋 誠君 |

幹事報告

1. 米山梅吉記念館 館報 秋号2025Vol,46
[(公財)米山梅吉記念会]
2. 10/1(水)花巻商工会議所 第28回会員親睦ゴルフ大会
[花巻商工会議所]
3. 2025-26年度 国際ロータリー・ゾーン1A.2&3
ロータリー財団地域セミナー開催のお知らせ
[ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)
第1地域 新井和雄]

プログラム

9月

- | | |
|-----|------------------------------------|
| 4日 | 会員卓話 金澤俊司君(慶祝・役員会) |
| 11日 | 会員卓話 奥山隆君 |
| 18日 | 休会 |
| 25日 | 助成金贈呈 担当:伊藤拓帆君
金星少年少女オーケストラ活動報告 |
-
- | | |
|-----|------------------------------|
| 10月 | |
| 2日 | 会員卓話 山口和久君(慶祝・役員会) |
| 9日 | 休会 |
| 16日 | 地区ガバナー公式訪問
ホテルグランシェール花巻 |
| 23日 | インターフェクト校来訪 活動報告
担当:高橋照幸君 |

出席報告(第2801回例会)

29人中 16人の出席
出席率 66.6%
前回修正 70.8%

メイキャップ
なし

ニコニコBOX R7.8.28
【高橋誠君 1,000円】
遅くなりました。
よろしくお願いします。





会長の時間

本日は、会員増強月間にちなんで、私が以前読んだ一冊の書籍をご紹介したいと思います。タイトルは『ロータリークラブに入ろう！』

著者は田中久夫さんという方で、群馬県の高崎ロータリクラブに所属されています。職業は大学教授で、2017年度～18年度に第2840地区のガバナーを務められた方です。2021年に初版で、すでに10冊となっているようです。幻冬舎からの出版で、商業出版か自費出版かは分かりませんが、ロータリー関係の書籍としては珍しく、広く読まれることを意識した読みやすい書籍でした。

著者ご本人曰く、これは「入門書」でも「解説書」でもなく、あくまで「体験談」なそうです。私自身、昨年度のエレクト時代に田中さんの講演を聴く機会がありましたが、とても朗らかで聞きやすい話し方をされる方で、この書籍も非常に読みやすい文章になっています。

全体を通して感じるのは、ロータリーという場が「人生の目的を見つけるための道場」「仲間とともに学ぶ大人の学園」であるという、前向きで魅力あるメッセージです。ただし「これは全部やるのは大変かも…」と感じるほどの活動密度で紹介されています。おそらく著者が非常にアクティブな方なのでしょう。非会員の方が読めば、「ロータリーって忙しそうだな」と身構えてしまう面もあるかもしれません。また、北関東の気質や大学教授というお立場からか、人間関係の距離感や描写など、私たち東北の感覚とは少し合わない部分も感じました。

とはいって、細かなスタイルの違いはさておき、読み物としては非常に勢いがあり、ロータリーに関心のある方や新入会員にとって、一つの刺激になる本だと感じました。機会があれば読んでみてください。

会員卓話・清水由美子君(石材加工)

石材業界について、核家族・単身世帯が増え、お墓に対する考え方方が大きく変わってきています。お墓といえば先祖供養を前提とした「家墓」や「代々墓」がほとんどでした。しかし最近では一緒に暮らす家族のあの世の住まいや、亡き個人を偲ぶモニュメントとしてのお墓の需要が増えている。近年は一般墓石より樹木葬や納骨堂、合祀墓、メタバース霊園などお墓を建てる人の割合は2割ほどに減ってきている。それに伴い石材店の仕事量が激減し、倒産や廃業という事を耳にする機会が増えてきている。仕事量が1/4に減っていることで、少ない仕事を椅子取りゲームのように早い者勝ちの様相を呈しています。花巻でも例外ではなく、墓じまいブームのあおりを受け、仕事量はピーク時の半数以下、1件当たりの契約金額もピーク時の半額以下となっています。墓じまいブームがいつまで続くか分かりませんが、人脈を築き堅実な仕事をしていきたい。石材店は、お墓を建立後そこから世代を超えて行う「墓守」という重要な使命があります。良いお墓、良い供養を求められるお客様にとって、重要な基準だと信じています。そして、引き続きお墓の大切さの啓発活動を地道に進めて行きたいと思っています。

歴史上の人物とパワーストーンについて。歴史上有名な偉人たちが愛したパワーストーンがあります。クレオパトラはエメラルドをよく愛しました。フランスの皇帝ナポレオンはカーネリアンを愛用していました。イギリスの女王エリザベス1世は淡水パールを好んで身に着けていました。ルネサンス期の芸術家ミケランジェロは、ラピスラズリの青色顔料「ウルトラマリン」を頻繁に使用しました。フランスの王妃マリー・アントワネットはアクアマリンを特に愛しました。イギリスの故ダイアナ妃はアメジストを使ったアクセサリーを好んで身に着けました。

このように、パワーストーンは古代から現代まで愛されています。パワーストーンは美しさだけでなく、象徴的な意味やスピリチュアルな癒しや、ファッショナブルなアイテムとして広がりを見せています。

